



南海医療センター附属  
介護老人保健施設  
〒876-0857  
大分県佐伯市常盤西町12-6  
TEL0972-20-5090

### 南海医療センター附属介護老人保健施設 施設長 森本 章生



新年明けましておめでとうございます。

昨年は4月14日に熊本・大分地震が発生し、特に熊本では甚大な被害があり、当地域も他人事ではないことを思い知らされました。11月22日には福島県沖地震による津波が発生し、「南海トラフ地震・大津波」もいつ起こるのかという心配が頭をよぎるのではないかと思います。その時にどのような行動や対応をとるかは、やはり日頃からの訓練が大切であると考えるところです。

さて内閣府による平成28年度版高齢者白書によると、65歳以上の高齢化率は26.7%、25年後に36%になると予想しております。佐伯市はというと、昨年11月で36.75%であり全国的にもかなり高齢化が進んでいる地域であります。その中で南海老健の果たすべき役割は重要であると認識し、職員一同一丸となってより良いサービスの提供に努めて参りたいと考えておりますので、本年もよろしくお願い致しますとともに、本年が皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。

### 南海医療センター 院長 亀川 隆久



明けましておめでとうございます。新しく始まる一年が平穏無事に過ぎていきますように心から祈るばかりです。

今年の干支は「酉(とり)」です。「福を『取り』込む」に通じますので、非常に縁起の良い年になるに違いありません。ところで、科学や技術の進歩は素晴らしく世の中が便利になっていくのは大変いいことですが、便利さと効率化を求めすぎて、人間が本来持ち合わせている優しさが失われつつあるような気がします。

このような時代だからこそ、他人に対しても、自分自身に対してもゆとりを持って接するように意識することが大切ではないでしょうか。

南海老健で生活される皆様が、楽しく明るく健やかに毎日を過ごしていただけるように、私たち職員は頑張ります。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 副施設長 麻生 浩美



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。当施設では昨年より、これまで以上に地域に寄り添う施設となれるよう訪問リハビリテーションを開始いたしました。まだまだ力不足は否めませんが、今年度も皆様から安全で安心できる、そして信頼される施設作りを目指し、職員一同一丸となって努力してまいります。また、今年度は南海医療センターの新築工事が開始される予定となっております。工事期間中は、皆様にご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

皆様におかれましても、今年が良き年になりますように、お祈り申し上げます。

### リハビリテーション室 室長 理学療法士 富松 満代



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

私事ですが、昨年は持病による下肢痛・腰痛に苦しんだ1年でした。「雨降り前に痛む」「気温が下がると痛む」と、これまでよく耳にした症状が自分の身に起こるようになり、利用者様の痛み、不自由さをわずかですが実感するようになりました。

また、昨年は訪問リハビリを開始した年でもあります。『日々の生活を自分らしく暮らすために、大切な人と大切な時を刻むために、私たちがお手伝いいたします』訪問リハビリを始めるにあたり考えたキャッチフレーズです。今年はこの思いをしっかりと実現すべく、精進いたします。皆様と共に、老いる身体と上手く付き合いながら、楽しく・元気に・幸せに生活していく方法を探求していきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 南海居宅介護支援センター 管理者 國部 昭夫



新年明けましておめでとうございます。

皆様には日頃より格別のご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年1年を振り返ると、記憶に残るのが熊本・大分地震です。大規模災害への対応について改めて考えさせられた1年でした。もちろん災害を想定して日頃より安否確認の方法や避難場所を確認しておくことも大切ですが、平常時から利用者が生活する地域と顔の見える関係や繋がりを持つこともとても大切に思います。要介護者や要支援者を援助する介護支援専門員は、このような地域づくりを担うことも求められています。前置きが長くなりましたが、私たち居宅介護支援センターは、ご利用者が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、日々精進しながら誠心誠意努めて参ります。至らぬ点もあるかと存じますが本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

### 看護師長 久保田 忍



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、利用者様やご家族様、そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解をいただきありがとうございました。

本年も、利用者様が安心して過ごしていただける施設を目指して介護の質を高め、よりよいサービスを提供できるよう努力してまいります。一方で、施設として、これまで以上に地域包括ケアを意識し、地域の方々への専門的な情報を発信していく機会をつくること。また、昨年度、近隣で起こった災害被害を教訓として、いざれ起こる可能性のある地震災害などへの備えを万全にすることが急務であると考えています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

### 管理課 課長補佐 岩木 功



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は利用者様、ご家族様、南海老健関係者の皆様より暖かいご支援・ご理解を頂き誠にありがとうございました。皆様年末、年始は楽しく過ごせたでしょうか。

昨年は、熊本・大分地震等他人事ではなく身近な所での被害を受けています。当施設も災害時緊急避難場所となっております。日頃より避難場所・緊急時持ち出し物等を準備確認しておくのも大切な事だと思っております。

利用者様が安心して利用できるサービスを施設長を中心とし職員一人一人が日々努力に努めて行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。最後になりますが、利用者様、ご家族様が「今年はいいい年やったな」と思える様な1年をお祈り申し上げます。

### 介護士長 川井 忠明



新年明けましておめでとうございます。

2016年は皆様にとってどんな年だったでしょうか。世界では、イギリスのユーロ離脱、テロ、アメリカ大統領選などがあり、近隣諸国においても韓国大統領事件、北朝鮮のミサイル・核実験、中国の尖閣諸島問題など大きなニュースが後を絶ちませんでした。そんな中で、日本中を熱狂させたのがリオ五輪であり多くの感動を受けました。色んな事があった2016年も過ぎ、2017年となりました。今年が酉年ですが、酉年生まれの方は十二支別では最も少なく943万人で、男性457万人、女性486万人となっております。皆様の中で年男、年女の方はおられるでしょうか。酉年の方には、大きく羽ばたいて頂きたいと思っております。私共といたしましても利用者様が元気で楽しく過ごせる環境づくりをし、皆様と良好な関係を保ちながら一年を過ごせるように努めてまいりますので宜しくお願い致します。